

令和6(2024)年度 学力向上検証委員会のまとめ

1 目的

とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）を検証し、県教育委員会が実施する学力向上対策の改善に資する。

2 学力向上検証委員

11名（大学教授、県小学校長会代表、県中学校長会代表、県高等学校長会代表、県小学校教育研究会代表、県中学校教育研究会代表、市教育長部会代表、町教育長部会代表、県PTA連合会代表、総合教育センター代表、教育事務所長会代表）

3 期日及び実施内容

・第1回

期日：令和6(2024)年7月1日(月) 13:30~15:30

内容：説明 ①令和6(2024)年度とちぎっ子学力アッププロジェクトの事業概要について
②令和6(2024)年度とちぎっ子学習状況調査の結果(概要)について

協議 ①市町独自の学力向上に向けた取組への支援について
②県版学力調査について

・第2回

期日：令和6(2024)年9月2日(月) 13:30~15:30〔書面開催〕

内容：説明 ①令和6(2024)年度第1回学力向上検証委員会のまとめについて
②令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)について

協議 県域全体における学力水準を維持向上させるための県教育委員会としての取組について

・第3回

期日：令和7(2025)年2月3日(月) 13:30~15:30

内容：説明 ①令和6(2024)年度第2回学力向上検証委員会のまとめについて

②令和6(2024)年度とちぎっ子学力アッププロジェクトの実施状況について

協議 学力向上推進リーダー配置事業及び学力向上コーディネーター派遣事業の更なる充実に向けて

4 本年度の検証委員会について

「とちぎっ子学力アッププロジェクト」が、11年目を迎えるに当たり、本年度の委員会では、プロジェクトに係るこれまでの取組の成果や課題等について検証を行ってきた。各委員会の協議では、参加した委員に対し、それぞれの立場からの意見を求めた。

特に、令和6年度の新規事業として、中学校にも学力向上推進リーダーを配置し、中学校の授業改善への取組を支援したことや、中学校学力向上推進リーダーを配置した学校に併せて学力向上コーディネーターを派遣し、重点的に支援を行ったことについて協議した。

委員からは、更なる充実を図るためには、再任教員を含めた人材の活用や学校支援体制の充実を図ることが大切である等の意見が出された。

5 委員長の総括

本年度は3回の委員会を通して、県全体の学力向上に向けた取組についての検証を行った。協議では、各委員から、令和6年度に実施した事業の取組の成果と課題を検討し、成果について広く周知する必要性や、今後の方向性について意見が出された。

特に、推進モデルエリアを設定し、学力向上コーディネーター派遣事業及び中学校学力向上推進リーダー配置事業を重点的に支援したことで、課題解決に向けた組織的な取組や教員の授業改善に向けた取組の充実及び小中連携が図られていることが確認できた。さらに、学力向上推進リーダー及び学力向上コーディネーターそれぞれの役割を生かし、相乗的に効果を発揮できるようにしていくことが必要である。

今後は、独自調査の実施方法や内容を見直すなどの検討を重ねることや、次年度以降の派遣事業や配置事業などの取組について更なる充実を図ってほしい。